



どんどんに火忽ち風の立ちにけり

井門 忠士

料理盛る手を休めをり初日の出

戒田 成子

防災の訓練終へし^{なごな}齋粥

重川 雄才

葉牡丹の過ほどけゆく昼の月

武市 悦子

鈴の音の絶えぬ一日初葉師

中村 葉子

湧水を甕に満たして寒土用

三木 久美子

小鼓を聞かせてもらふ年始かな

水野 節子

古曆あふれるほどに農事メモ

森川 小夜子

県境を越えて冬日の柔らかき

矢田 弘

大根の柔らかく煮え寒に入る

川本 玉子



編集後記

今冬、夏の花ひまわりが再び花をつけ、菜の花がこの寒空にもう咲いています。以前の季節感と違った風情を楽しみながらも、これも温暖化の影響かなと憂う気もします。さて昨年より国政は衆参ねじれ国会により、政策、法案等の成立が遅れ、また困難な状況が続いており、今年衆議院解散も確実視される混沌とした政局です。私達地方議会といたしましては、国政に注視しながらもその動向に惑わされず、しっかりと足元を見据えた活動が大切と考えています。政策、議案等行政と又議会においても十分且つ、慎重に議論を重ね、住民の皆様を第一に考えた政治をしなければと決意を新たにしております。これからの的確な表現でわかりやすく、愛される「まつかぜ」に委員一同頑張ってまいります。本年が皆様にとりまして輝けるすばらしい年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。